

平成 21 年度

東京都教職員研修センター紀要

第 9 号

平成 22 年 3 月

はじめに

社会状況や子供を取り巻く環境の変化に伴い、学校教育に対する都民の期待は、ますます高まっています。学校において、教員に求められる力は学習指導面のほかにも多種多様にわたり、教員一人一人の指導力と対応力、そして学校の組織的な課題解決能力の強化が求められています。

こうした中、東京都教育委員会は、平成20年10月に、「東京都教員人材育成基本方針」を策定し、「子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師」、「組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高め合う教師」等、東京都の教育に求められる教師像を示したところです。

東京都教職員研修センターにおいては、この基本方針に基づき、東京都の教員として求められる力を、初任者から管理職までの経験や職層に応じて確実に身に付けられるようにするために、職層に応じた研修や教員の専門性を高める研修を新たに体系化するとともに、授業改善を進める上での様々な課題の解決と授業の充実を支援するために、研修内容の工夫・改善を図ってまいりました。

さらに、次代を担う力をもった子供たちの育成に向け、一層多様化・深刻化する教育課題の解決に資する研究に取り組んでまいりました。研究を推進するにあたっては、学校を取り巻く現状や実態を明らかにするとともに、具体的な指導改善に役立つような研究を目指して取り組むことを旨としました。

本研究紀要は、こうした趣旨に基づき取り組んだ「自尊感情や自己肯定感」「創造性の育成」、「学ぶ意欲や態度の育成」、「学校におけるOJTの効果的な実践」について、その研究の成果を集約したものです。

各教育委員会や学校におかれましては、本研究紀要に掲載した研究内容等を、教育課程の工夫・改善や教職員の資質・能力の向上、家庭や地域に対する啓発などに、活用していただければ幸いです。

当センターの教育課題研究の推進にあたり、多くの示唆や御助言をいただいた協議委員や講師の方々、調査や検証授業等に御協力いただいた各教育委員会や学校に感謝を申し上げます。

平成22年3月

東京都教職員研修センター所長

岩佐哲男

目 次

自尊感情や自己肯定感に関する研究（第2年次）	3
創造性の育成に関する研究（第2年次）	27
－創造的思考を重視した問題解決を図るための指導の工夫－	
学ぶ意欲や態度の育成に関する研究	51
－児童・生徒の学習行動に対する教師の働きかけによる 授業実践力と授業観察力の向上を図る－	
学校におけるOJTの効果的な実践に関する研究	75